

教科(科目)	公民 (倫理)	単位数	2単位	学年 (類型)	3学年 (必修・文系)
使用教科書	実教出版 『高校倫理』 新訂版				
副教材等	浜島書店 『最新図説 倫理』				

1 学習目標

人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めるとともに、人格の形成に努める実践的な意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要となる能力と態度を育成する。

2 指導の重点

- ①基礎・基本的な知識の理解と定着を目指す。
- ②青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成の助けとする。
- ③先哲の思想を手がかりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。
- ④大学進学等を目標にした発展的な学習も取り入れ、応用力の養成を目指す。

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動	時間	評価方法
4	青年期の課題と自己形成	青年期の意義 青年期の課題	青年期をアイデンティティ確立の時期として理解し、生涯にわたり繰り返される自己の成長について考察する。 自己の内面を客観的に見つめ、欲求の充足と調整への理解を通して、望ましい自己のあり方について考察する。	10	定期考査 授業での 発言・取組
5	人間としての自覚	ギリシアの思想	ギリシア思想に見られる哲学的な見方を、科学的な見方と対比しながら理解する。 人間のすぐれたあり方としての徳について、先哲の思想を比較しながら考察する。 ○1学期中間考査		
6		キリスト教 イスラーム 仏教 中国思想 芸術と人生	宗教思想にみられる人間観について、それぞれの特徴と違いに注目しながら理解する。 中国の思想を学び、個人の内面のあり方や他者とのつながりについての理解と思索を深める。 芸術への理解を通して、創造的に生きることの意義について考察する。 ○1学期期末考査	12	定期考査 授業での 発言・取組
7					
8	日本人としての自覚	古代日本人の思想 日本の仏教思想 近世日本の思想 西洋思想の受容と展開	日本人の人間観、自然観、宗教観などの特質について、日本の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己との関わりにおいて理解する。 日本の伝統思想と国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深める。 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深める。 ○2学期中間考査	16	定期考査 授業での 発言・取組
9					
10					

11	現代に生きる 人間の倫理	人間の尊厳 科学・技術と人間 民主社会と自由の実現 社会と個人 人間への新たな問い 社会参加と幸福	人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学・技術と人間との関わりについての理解と思索を深める。 民主社会における人間のあり方や自由の実現、個人と社会との調和や社会改良、社会参加と幸福についての理解と思索を深める。 ○2学期期末考査	14	定期考査 授業での 発言・取組
1 2	現代の諸課題 と倫理	生命の倫理、環境の倫理 家族の課題 地域社会の課題 高度情報化社会の課題 文化と宗教の課題 国際平和と人類の福祉の 課題	自ら選択した現代の倫理的課題について、これまで学んできた先哲の思想を踏まえて、自己自身の課題と関連させながら主体的に探究し、レポートにまとめる。	12	レポートの 記述 授業での取組

計64時間 (55分授業)

4 課題・提出物等

定期考査ごとに授業ノート等の提出があります。そのほかには授業で指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を高めており、人格形成や自己形成の確立に努める実践的意欲を持っている。 ・倫理的な諸課題についての探究的な態度を身につけ、人間としての在り方生き方への自覚を深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者と共に生きる自己の確立について広く課題を発見し、人間の存在や価値、現代の倫理課題などについて多面的・多角的に探究しようとしている。 ・良識ある公民としての広い視野に立つことで、主体的かつ公正な判断をしている。 ・課題についての考察や判断の過程や結果を、様々な方法で論理的に表現している。また、それについての的確に反省し、自己評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料を自己形成のために主体的に活用し、追究した内容などを様々な方法で適切に表現している。また、それについての的確に反省し、自己評価することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期における自己形成や人間としての在り方生き方、現代の倫理的課題などに関した基本的な事柄を他者と共に生きる自己の確立の課題として理解している。 ・さらに、自己の人格形成や課題解決のために生かす知識を身に付けている。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取組(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など) ・授業ノートやレポート課題など提出物の内容 ・定期テスト <p>などから、総合的に評価します。</p>			

6 担当者からの一言

これからの社会においては、主体的に考え、みずからの方向を定めていく力を養うことがより強く求められています。先人たちの思想に学ぶことで、より良い自己の在り方生き方について思索を深めて、実践していきましょう。